平成24年度2月補正予算(臨時議会)の概要

平成25年2月14日

(雇用人材総室)

| 1 | 予算規模(一般会計) |
|---|---|
| | 補正額 33,912百万円 |
| | 補正後 376,579百万円 |
| | 補正前 342,667百万円 |
| | (補正財源 国庫24,420百万円、起債6,709百万円、繰越金2,595百万円など) |
| 2 | 主な事業 |
| | ①緊急防災・原子力安全対策 〈18,736百万円〉 |
| | 島根原子力発電所に係る原子力防災緊急対策事業 472百万円 |
| | 住民等の被ばく防護措置を適切かつ迅速に講じるため、映像システムの構築やUPZ(緊急時防 |
| | 護措置を準備する区域)圏内の公共施設等における放射線測定器の配備等に要する経費 (危機対策・情報課) |
| | 災害情報共有・業務支援システム整備事業 7 1 百万円 |
| | 災害時における県・市町村・防災関係機関等による災害対応業務の効率化や迅速化、住民等への |
| | 情報伝達手段の拡充を図るための新たなシステム整備に要する経費 (危機対策・情報課) |
| | 消防防災へリコプター運航用無線中継局整備事業 |
| | 消防防災へリコプターが災害時等において、県内の情報収集や災害活動を行うためのヘリ運航用 |
| | 無線について、電波状況の弱い中部地区への無線局の整備に要する経費 (危機対策・情報課) |
| | 鳥取情報ハイウェイ強靱化事業 |
| | 防災上の観点から、県及び市町村の情報システム上の基幹回線である情報ハイウェイ光ファイバ |
| | ケーブルの迂回路整備を行い、ネットワークの強靱化を図るとともに、全体的な耐災害性の検討 |
| | ・調査に要する経費・・調査に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| | 公共事業 |
| | (1)補助事業(農業農村整備、農地防災(震災対策ため池調査等)、水産基盤整備、道路等の老 朽化対策、河川・砂防等の防災・減災対策、通学路の交通安全対策等) |
| | 15,078百万円 |
| | (2) 単県事業(地方特定道路整備等) |
| | (3) 国直轄事業(道路、河川、砂防) |
| | (公園自然課、農地・水保全課、森林・林業総室、水産課、道路企画課、 |
| | 道路建設課、河川課、空港港湾課、治山砂防課) |
| | ②県内経済の活性化 〈5, 587百万円〉 |
| | 鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金造成事業 |
| | 新たな失業者対策として、国において起業後10年以内の企業、NPO等への委託事業が創設された |

ことから、基金の積み増しに要する経費

| 地域商業活性化促進支援事業 | 0百万円 |
|--|-------------|
| アーケードの改修など、商店街が行う環境整備事業を支援する市に対し助成を行うための | 経費 |
| (経済通 | 商総室) |
| 鳥取県地域活性化総合特区推進事業(超小型モビリティ導入促進) | 1 百万円 |
| 新たな乗り物である超小型モビリティのニーズを掘り起こすとともに、超小型モビリティ | ィ導入と |
| 地域活性化の取組との相乗効果による産業振興・雇用創造等の検討に要する経費(産業振 | 興総室) |
| 再生可能エネルギー導入モデル事業 | 3百万円 |
| 県立農業大学校に、太陽光発電、木質バイオマス、地中熱を活用した、中山間地域の小規 | .模分散・ |
| 自立型エネルギー供給システムのモデル施設の整備に要する経費 (環境立県 | 推進課) |
| 鳥取県緑の産業再生プロジェクト基金造成事業 | 4 百万円 |
| 木材公共施設やバイオマス利活用施設の整備を推進するため、国補正により交付される系 | 华林整備 |
| 加速化・林業再生事業交付金を緑の産業再生プロジェクト基金に積み増しを行うための経 | 圣費 |
| (森林・林 | 業総室) |
| 栽培漁業センター施設強化事業 | 6百万円 |
| 陸上養殖産業の振興に向けた、養殖魚種の開発、養殖種苗供給機能を強化するための施設 | 受及び設 |
| 備の増設工事に要する経費 (栽培漁業セ | ンター) |
| 水産物鮮度保持・加工施設整備事業 | 0百万円 |
| 国補正予算を活用し、漁協が実施する水産加工・流通加工施設(冷蔵施設等)の整備に対 | 付し助成 |
| するための経費()(| 水産課) |
| (首としの史心・地域活性ループの、500五五四) | |
|)暮らしの安心・地域活性化 〈9,589百万円〉 中央病院機能強化整備基本構想策定事業 (H25債務負担行為 6) | 百万円) |
| 県立中央病院が東部保健医療圏の中核を担う高度急性期医療体制を構築するため、外部で | 与識者等 |
| からなる検討委員会を早急に立ち上げ、病院改革基本構想の検討に要する経費 | |
| (病院局: | 総務課) |
| 鳥取県地域の元気・公共投資臨時基金造成事業 |) 百万円 |
| 地方公共団体が積極的に地方単独での公共事業等に取り組むため、平成25年度以降に対 | づける財 |
| 源として活用できるよう新設された国交付金を活用して基金を造成するための経費 (| 財政課) |
| 鳥取県海岸漂着物対策基金造成事業 | 0 百万円 |
| 国補正により交付される海岸漂着物処理対策事業費補助金を、平成25年度及び26年原 | 度におい |
| ても海岸漂着物処理の円滑な実施に活用するための基金を造成する経費 | (河川課) |

倉吉児童相談所の相談体制の充実及び虐待を受けた児童の緊急避難先としての一時保護機能の充

実を図るための改築整備に要する経費(改築に係る実施設計)

17百万円

(青少年・家庭課)

八橋署の庁舎移転に向けて、用地買収等の実施に要する経費

(警察本部)

スクールカウンセラー配置事業 …………………………………………………… 1百万円

国補正予算を活用し、年度末に向けて中学校に拠点を置くスクールカウンセラーの巡回相談時間 数を増やすための経費 (小中学校課)

【参考】

○ 国の経済対策に伴う基金の造成 <12,892百万円> ※金額再掲

<新設分>

| <新設分> | | |
|--|----|-----------|
| 鳥取県地域の元気・公共投資臨時基金(財政課) | 5, | 800百万円 |
| 鳥取県海岸漂着物対策基金 (河川課) ······ | | 200百万円 |
| <積増分> | | |
| 鳥取県医療施設耐震化臨時特例基金 (医療政策課) ······ | 1, | 192百万円 |
| 鳥取県介護基盤緊急整備等臨時特例基金 (長寿社会課) | | 3 3 4 百万円 |
| 鳥取県介護職員処遇改善等臨時特例基金 (長寿社会課) | | 1 5 2 百万円 |
| 鳥取県安心こども基金 (子育て応援課) | | 4 5 0 百万円 |
| 鳥取県自殺対策緊急強化基金 (健康政策課) ······· | | 4 0 百万円 |
| 鳥取県消費者行政活性化基金 (消費生活センター) | | 2 0 百万円 |
| 鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金 (雇用人材総室) ······ | | 900百万円 |

鳥取県緑の産業再生プロジェクト基金(森林・林業総室) **…………… 3.804百万円**